

# Data Projector

---

取扱説明書

JP

使用说明书

CS

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## VPL-CX11

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～9ページの注意事項をよくお読みください。

## 定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

## 故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは

- ➡
- ① 電源を切る。
  - ② 電源コードや接続コードを抜く。
  - ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

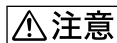
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

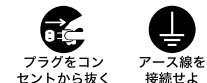
## 注意を促す記号



## 行為を禁止する記号



## 行為を指示する記号



# 目次

⚠ 警告 .....	4
⚠ 注意 .....	6
電池についての安全上のご注意 .....	8
ランプについての安全上のご注意 .....	9

## 概要

本機の特長 .....	10
各部の名称と働き .....	12
前面 / 左側面 .....	12
後面 / 右側面 / 底面 .....	12
コントロールパネル .....	14
コネクターパネル .....	16
リモートコマンダー .....	17

## 設置・接続と投影

設置する .....	19
接続する .....	20
コンピューターを接続する .....	20
ビデオ機器 / 15k RGB / コンポー ネット機器を接続する .....	22
メニュー表示言語を切り換える .....	24
スクリーンに画像を映す .....	26
プレゼンテーションに便利な機能 .....	29

## メニューで行う調整と設定

メニューの操作方法 .....	30
画質調整メニュー .....	31
信号設定メニュー .....	32
初期設定メニュー .....	34

## 保守・点検

メンテナンス .....	35
ランプを交換する .....	35
エアフィルターが汚れてきたら .....	37
トラブル時の対処 .....	38
注意メッセージ .....	40
警告メッセージ .....	40

## その他

設置例 .....	41
設置時のご注意 .....	43
設置に適さない場所 .....	43
使用に適さない状態 .....	43
本機の性能を保持するために .....	44
保証書とアフターサービス .....	45
仕様 .....	46
索引 .....	51



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により  
**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

---

#### 電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口  
に交換をご依頼ください。

---

#### 指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や  
故障の原因となることがあります。

---

#### 内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したり  
すると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、  
修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

---

#### レンズをのぞかない



禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えるこ  
とがあります。

---

#### 内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブ  
ルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

---

排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から30cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

---

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

---

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

---

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

---

天井への取り付けは絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください(有料)。お客様ご自身での取り付けは絶対に行わないでください。落下して大げがの原因となります。

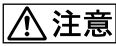
---

指定外の設置を行わない



禁止

本機は床置き・天井専用機器です。それ以外の設置を行うと、火災や大げがの原因となります。設置時のご注意については、本書の「設置時のご注意」をご覧ください。



**注意**

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に損害を与えることがあります。

運搬するときは必ずハンドルを持つ



禁止

運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

---

アジャスター調整時に指を挟まない



指挟み

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

---

定期的にはエアフィルターをクリーニングする



注意

約300時間使用したら、必ずエアフィルターのクリーニングをしてください。天井にプロジェクターを取り付けた場合はほこりがたまりやすくなりますので、特にこまめにクリーニングしてください。

クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

---

定期的には内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

---

安全アースを接続する



アース線を  
接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。プラグから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

# 電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

## 万一、異常が起きたら

• 電池の液が目に入ったら

→ すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

• 煙が出たら

→ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口  
に連絡する。

• 電池の液が皮膚や衣服に付いたら

→ すぐにきれいな水で洗い流す。

• バッテリー収納部内で液が漏れたら

→ よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。



破裂



高温

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺  
の物品に損害を与えたりすることがあります。



破裂

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内(乾電池に記載)の乾電池を使用する。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。



# ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。

「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

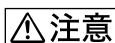


下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから1時間以上たって、十分にランプが冷えてから行なってください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。ソニーのサービス窓口でランプの交換と内部の点検を依頼してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

速やかに医師にご相談ください。

## お願い

ソニーは環境保全のため、プロジェクターの使用済みランプの回収を行なっています。使用済みのランプは、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特約店までお持ちくださるよう、ご協力をお願いいたします。

---

## 本機の特長

---

場所を選ばない機動性

軽量・小型

重さ約3.3kg、A4ファイルサイズの小型化を実現。コンピューターと一緒に手軽に持ち運べます。また、持ち運びに便利なハンドルを装備しています。

---

静粛性の向上

新規内部冷却機構を採用し、更に静粛になりました。

---

高輝度・高画質映像

- 高輝度

新規の160 W ランプおよび新規光学システムの採用により、1500ANSIルーメンの均一で明るい映像を再現できます。

- 高解像度

約79万画素の高精細0.9インチXGAパネルを3枚採用し、RGB入力時には、水平解像度1024ドット、垂直解像度768ドットを、ビデオ入力時には、水平解像度750TV本を実現しました。

---

手軽なセットアップ

- 手軽に外部機器を接続

あらかじめ37種類の入力信号がプリセットされているので、付属のケーブル1本を接続し、APAキーを押すだけで外部機器の映像を映すことができます。

---

- USBハブ機能装備

USB マウスをはじめとするUSB 機器を接続することが可能なほか、付属のアプリケーションソフトウェア(CD-ROM)を使用して、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000およびWindows MEを標準搭載したコンピューターからプロジェクトをコントロールすることができます。

---

プレゼンテーションに便利な機能

- マウスコントロール機能付き多機能リモートコマンダー

マウスレシーバーを本体に内蔵しているので、リモートコマンダーから本体に接続したコンピューターを遠隔操作できます。

- リモートコマンダーにデジタルズームキー、ファンクションキーを装備

画面上の希望の位置を拡大したり、付属のアプリケーションソフトウェア(CD-ROM)を使用して、プレゼンテーションに使用するファイルをファンクションキーに登録し、付属のリモートコマンダーで自動的に起動することができます。

---

様々な入力信号に対応

- スキャンコンバーターを搭載

スキャンコンバーターを内蔵、入力された信号を1024 × 768ドット内にアップ / ダウンコンバートします。

- 対応入力信号

コンポジット、Sビデオ、コンポーネントのビデオ信号をはじめ、15 k RGB、VGA、SVGA、XGA、SXGA 信号を表示することができます。

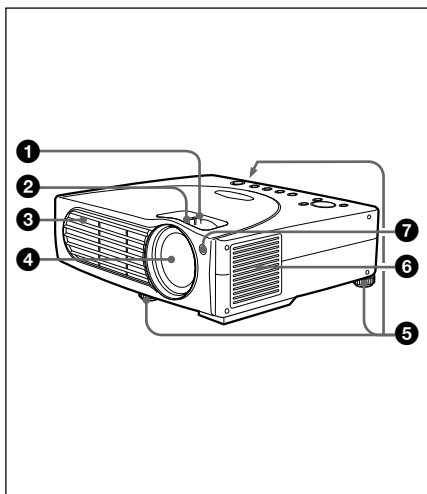
- 6つのカラー方式に対応  
自動切り換えで NTSC、PAL、SECAM、NTSC<sub>4.43</sub><sup>1)</sup>、PAL-M、PAL-N の6つのカラー方式に対応します。

<sup>1)</sup>NTSC<sub>4.43</sub>とは、NTSC方式で録画されたビデオカセットを、NTSC<sub>4.43</sub>方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

- 
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
  - VGA と SVGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
  - マイクロセーバーは Kensington 社の登録商標です。
  - Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
  - IBM PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
  - VESA は Video Electronics Standard Association の登録商標です。
  - Display Data Channel は Video Electronics Standard Association の商標です。
  - PC-98 は日本電気(株)の商標です。

# 各部の名称と働き

## 前面 / 左側面



- ① ズームリング  
画像の大きさ(ズーム)を調整します。
- ② フォーカスリング  
画像のフォーカスを調整します。
- ③ 排気口
- ④ レンズ
- ⑤ アジャスター  
画面がスクリーンから外れてしまう場合、アジャスターで調整します。  
  
アジャスターの使いかたについて詳しくは、「アジャスターの使いかた」(13ページ)をご覧ください。
- ⑥ 吸気口 / エアフィルターカバー  
排気口 / 吸気口について

### ⚠ 警告

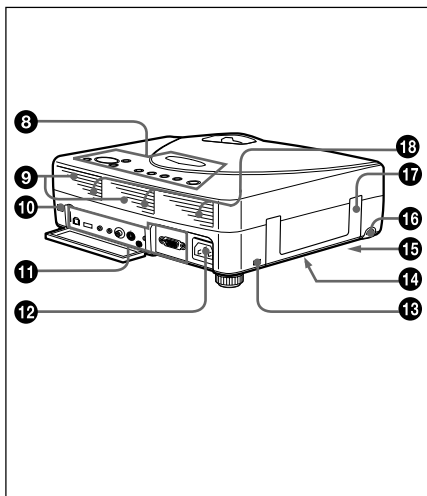
- 排気・吸気口をふさがないでください。排気・吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 排気口に手を触れたり、近くに物を置かないでください。排気口は高温になるので、やけどや火災の原因となることがあります。

### ご注意

本機の性能を保持するために、約300時間ごとに必ずエアフィルターのクリーニングを行ってください。

- ⑦ 前面リモコン受光部 (SIRCS受光部)
- ⑧ コントロールパネル  
詳しくは、「コントロールパネル」(14ページ)をご覧ください。
- ⑨ スピーカー

## 後面 / 右側面 / 底面



- ⑩ 後面リモコン受光部( SIRCS受光部 )
- ⑪ コネクターパネル  
詳しくは、「コネクターパネル」(16ページ)をご覧ください。
- ⑫ AC IN( 電源 )コンセント  
付属の電源コードを接続します。
- ⑬ 盗難防止用ロック  
市販の盗難防止用ケーブル( Kensington社製 )などを接続することができます。

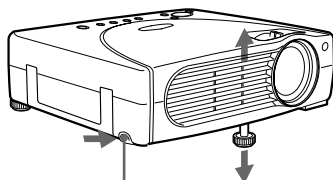
盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についての連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部  
〒104-0032  
東京都中央区八丁堀1-5-2はごろもビル  
Tel : 03-3537-1070  
Fax : 03-3537-1071  
Kensington ホームページアドレス  
<http://www.kensington.com/>

- ⑭ 吸気口( 底面 )
- ⑮ ランプカバー( 底面 )
- ⑯ アジャスタ - 調整ボタン
- ⑰ キャリングハンドル  
プロジェクター本体を持ち運ぶときに引き上げて使用します。
- ⑱ 吸気口( 後面 )

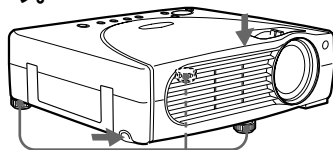
アジャスターの使いかた  
高さを調整するには  
以下の手順で調整します。

- 1 プロジェクターを持ち上げ、アジャスター調整ボタンを押す。  
アジャスターがプロジェクター本体から出てきます。



アジャスター調整ボタン

- 2 アジャスター調整ボタンを押しながら、プロジェクターを元に戻し、ボタンをはずす。  
アジャスターがロックされ、高さが固定されます。微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整します。

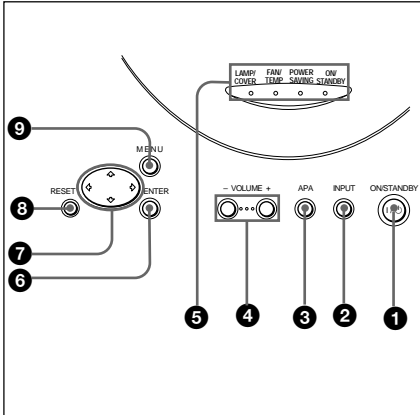


低くなる  高くなる

#### ご注意

- ・プロジェクターを持ち上げるときは、手をはさまないようにしてください。
- ・アジャスターを出した状態で、プロジェクターを強くおさえないでください。
- ・アジャスターをプロジェクター本体から取り外さないでください。アジャスターを外した状態でのプロジェクターの使用は絶対に避けてください。

## コントロールパネル



- 1** I / ⏻ ON/STANDBY (電源 / スタンバイ) キー  
 本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、ON/STANDBY インジケータが緑色に点灯します。  
 電源を切るときは、画面の表示にしたがって、I / ⏻ キーを2度押すか、I / ⏻ キーを約1秒押したままにしてください。

**電源を切る手順について詳しくは、「電源を切る」(28 ページ)をご覧ください。**
- 2** INPUT (入力選択) キー  
 入力信号を選びます。押すたびに、映像 / 音声信号が以下のように切り換わります。

INPUT A → VIDEO → S VIDEO  
 ↑
- 3** APA (Auto Pixel Alignment) キー  
 コンピュータから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。
- 4** VOLUME (音量) + / - キー  
 本体のスピーカーから出力される音量を調節するときに使います。  
 + : 音が大きくなります。  
 - : 音が小さくなります。

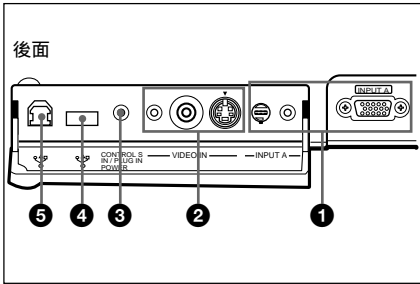
## 5 インジケータ

- LAMP (ランプ) / COVER (カバー) :  
 以下の状態のとき、点灯または点滅します。  
 点灯 : ランプの寿命がきたとき、またはランプの温度が高いとき。  
 点滅 : ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれているとき。
- FAN (ファン) / TEMP (温度) :  
 以下の状態のとき、点灯または点滅します。  
 点灯 : プロジェクター内部の温度が上がったとき。  
 点滅 : ファンが故障したとき。
- POWER SAVING (節電モード) :  
 節電モード時に点灯します。初期設定メニューの「パワーセービング」を「オン」に設定し、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くと節電モードになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。最初の30秒間はすべてのキーを受け付けません。節電モードは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。
- ON (電源) / STANDBY (スタンバイ) :  
 以下の状態のとき、点灯または点滅します。  
 赤色に点灯 : 電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I / ⏻ キーで電源を入れることができます。  
 緑色に点灯 : 電源が入っているとき。  
 緑色に点滅 : I / ⏻ キーで電源を切った後の約60秒間。(本機内部の温度を下げるために、約60秒間ファンが回り続けます。)  
 はじめの30秒間は、ON/STANDBY インジケータが早い間隔で点滅します。この間は再びI / ⏻ キーを押してもランプを点灯させることはできません。

LAMP/COVER、FAN/TEMPインジ  
ケータについて詳しくは、40ページを  
ご覧ください。

- ⑥ ENTER (確定) キー  
メニューの設定項目を確定するときに押します。
- ⑦ ↑/↓/←/→ (矢印) キー  
メニューに表示されるカーソルを動かすときや、  
項目の数値を変えるときに使います。
- ⑧ RESET (リセット) キー  
調整した項目の調整値を初期設定状態に  
戻すときに押します。  
メニュー画面、または項目を調整中 (画  
面に表示中) に働きます。
- ⑨ MENU (メニュー) キー  
メニューを画面に表示したいときに押しま  
す。もう1度押すとメニューは消えます。

## コネクターパネル



- ❶ INPUT A (入力A) 端子  
コンピューターなどの映像 / 音声を入力します。

INPUT A 端子 (HD D-sub 15ピン、メス) : コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。別売りの接続ケーブルを使用するとコンポーネント信号や15k RGB 信号を入力することもできます。

詳しくは、「15k RGB/コンポーネント機器を接続する場合」(23ページ)をご覧ください。

AUDIO (音声) 端子 (ステレオミニジャック) : コンピューターの音声出力端子と接続します。

MOUSE (マウス) 端子 (丸形6ピン) : コンピューターのマウス機能进行操作するとき、付属のマウスケーブルでコンピューターのPS/2マウスポートと接続します。

- ❷ VIDEO IN (ビデオ入力) 端子  
ビデオデッキなどの映像 / 音声を入力します。

S VIDEO 端子 (ミニDIN4ピン) :  
ビデオデッキなどのS映像出力端子と接続します。

VIDEO 端子 (ピンジャック) : ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

AUDIO (音声) 端子 (ステレオミニジャック) : ビデオデッキなどの音声出力端子と接続します。

- ❸ CONTROL S IN (コントロールS信号入力) / PLUG IN POWER (DC 5V) 端子 (ステレオミニジャック)

コントロールS出力端子のあるソニー製品に接続します。

付属のリモートコマンドのCONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードコマンドとして使用することができます。このとき、電源は本体から供給されるので電池を入れる必要がありません。

- ❹ USB 端子 (USB Aプラグ、ダウンストリ - ム用、4ピン) :  
USB 対応の周辺機器 (マウス・カメラなど) と接続します。

- ❺ USB 端子 (USB Bプラグ、アップストリ - ム用、4ピン) :  
コンピューターのUSB 端子と接続します。コンピューターと本機を接続すると、INPUT A 端子につながれたコンピューターのマウスを自動的に認識し、マウス操作を付属のリモートコマンドから操作できます。

また、付属のアプリケーションソフトウェアは、この端子につないだコンピューターにインストールして使用します。

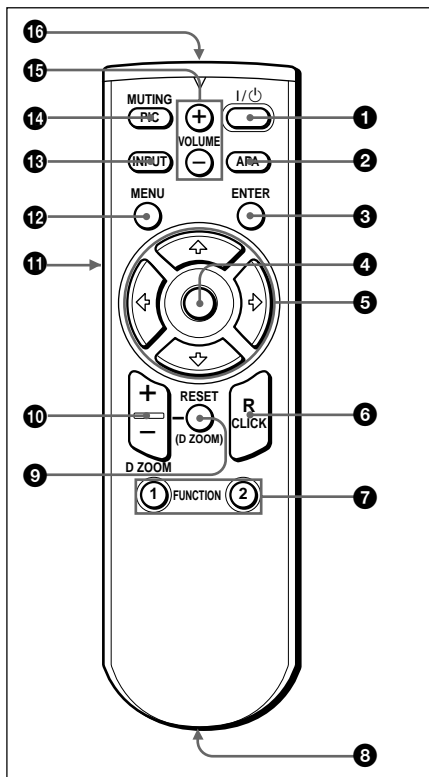


## リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。

また、本機のリモートコマンダーからコンピューターを操作できます。

詳しくは、「コンピューターを本機のリモートコマンダーから操作するには」(27 ページ)をご覧ください。



- ① I/⏻ (オン/スタンバイ) キー
- ② APA (Auto Pixel Alignment) キー
- ③ ENTER (確定) キー
- ④ ジョイスティック  
本機と接続しているコンピューターのマウス機能を操作します。

- ⑤ ↑/↓/←/→ (矢印) キー
- ⑥ R CLICK (右クリック) キー  
マウスの右ボタンの働きをします。
- ⑦ FUNCTION 1、2 (ファンクション1、2) キー  
付属のアプリケ - ションソフトウェアを使用する場合に働きます。  
アプリケ - ションソフトウェアを使って、あらかじめ任意のファイルをファンクションキーに登録しておくと、このキーを押すだけでファイルを開くことができます。

付属のアプリケ - ションソフトウェアについて詳しくは、アプリケ - ションソフトウェアに付属の Read me ファイルおよびヘルプをご覧ください。

- ⑧ CONTROL S OUT (コントロールS出力) 端子  
ワイヤードリモコンとして使う場合に、プロジェクターのCONTROL S IN 端子とつながります。リモコンケーブル (ステレオタイプ) で接続しているときは、プロジェクターからリモコン用の電源が供給されます。
- ⑨ RESET (リセット) (D ZOOM) キー  
メニューをリセットしたり、ズームした画像を一度で元の大きさに戻すとき使います。
- ⑩ D ZOOM (ズーム) +/- キー  
画面上の希望の位置を拡大することができます。(デジタルズーム機能)  
+ キー: + キーを1度押すと、画面の一部分(1/16)がハイライト表示されます。  
↑/↓/←/→ キーを使って拡大したい位置にハイライト表示を移動し、もう1度 + キーを押すと、画像が拡大されます。  
- キー: - キーを押すと、D ZOOM + キーで拡大した画面が縮小されます。

(つづく)

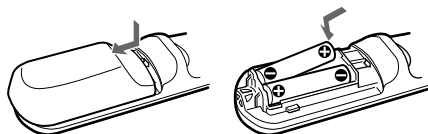
- ⑪ L CLICK(左クリック)キー  
マウスの左ボタンの働きをします。
- ⑫ MENU(メニュー)キー
- ⑬ INPUT(入力選択)キー
- ⑭ MUTING PIC(ミュートینگピクチャー)キー  
映像を一時的に消すとき使います。もう一度押すと解除されます。
- ⑮ VOLUME(音量) +/- キー
- ⑯ リモートコマンダー発光部

## 電池の入れかた

- 1 ふたをはずし、⊕と⊖の方向を確認して単3形乾電池2個(付属)を入れる。

上から押してスライドさせる。

必ず⊖極側から電池を入れてください。



- 2 ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意



8ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

リモートコマンダーが正常に働かなかったら、電池を交換してください。

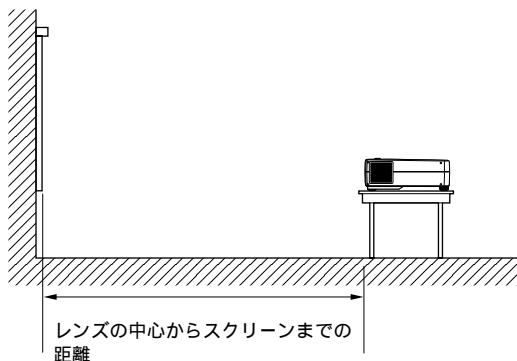
リモートコマンダーのご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

# 設置する

本機の設置方法を説明します。

レンズの中心からスクリーンまでの距離はスクリーンサイズによって変わります。  
下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。



単位: m

スクリーンサイズ (インチ)		40	60	80	100	120	150	200	300
距離	最小	1.5	2.2	3.0	3.8	4.5	5.7	7.6	11.4
	最大	1.8	2.7	3.6	4.5	5.4	6.8	9.1	13.7

設置寸法について詳しくは、「設置例」(41ページ)をご覧ください。

天井つりでご使用になる場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。(有料)

# 接続する

接続図は次ページ以下をご覧ください。

## ご注意

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

## コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## ご注意

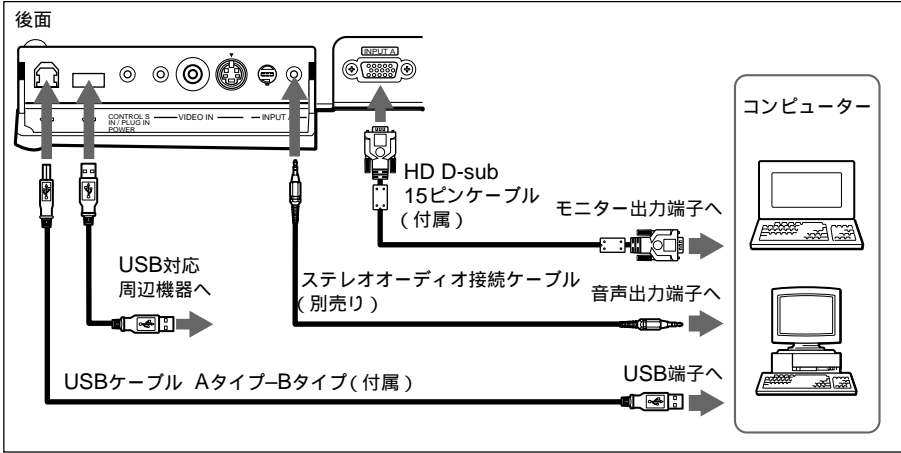
- 本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号をXGAに設定することをおすすめします。
- ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方から出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- コンピューターの種類によっては、付属のマウスケーブルが使用できないことがあります。
- 本機はDDC2B (Display Data Channel 2B)に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は以下の手順に従って電源を入れてください。
  - 1 プロジェクターとコンピューターを付属のHD D-sub 15ピンケーブルで接続する。
  - 2 プロジェクターの電源を入れる。
  - 3 コンピューターを起動する。

## IBM PC/AT互換機を接続する場合

### USBマウスやUSB対応の周辺機器を使うとき



### USB機能について

USBケーブルを使ってプロジェクターとコンピューターを初めて接続すると、以下のデバイスがコンピューターに自動認識されます。

- 1 汎用USBハブ
- 2 USBヒューマンインターフェースデバイス(ワイヤレスマウス機能)
- 3 USBヒューマンインターフェースデバイス(プロジェクターコントロール機能)

上記以外に、プロジェクターのダウンストリーム用端子に接続したデバイスがお使いのコンピューターに認識されます。

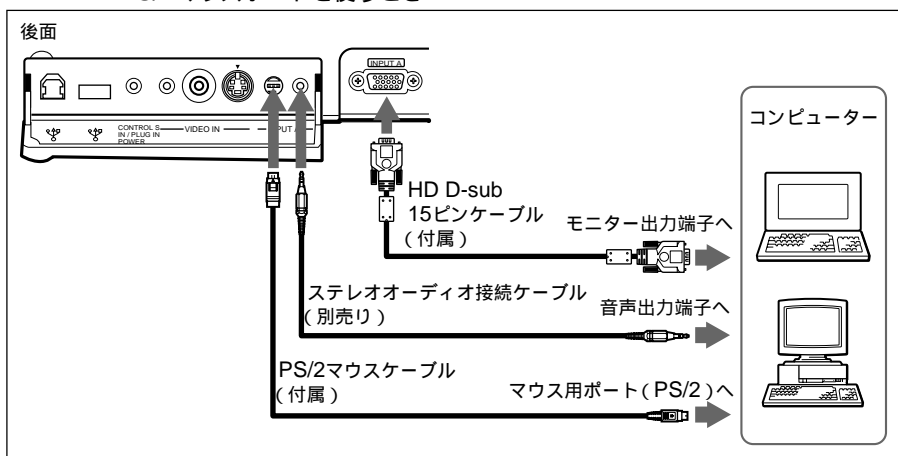
### 推奨動作環境

USB機能を使用する場合は、上の図のように接続してください。アプリケ - ションソフトウェアおよびUSB機能は、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000 およびWindows MEを標準搭載したコンピューター上でご使用いただけます。

### ご注意

- USB端子を使ってコンピューターを接続すると自動的にUSBマウスが認識されるので、PS/2マウスポートに何も接続しないでください。
- 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続したままコンピューターを起動させると、正しく起動しない場合があります。その場合は、一度接続を外し、コンピューターを再起動してから、USBケーブルを接続してください。
- 本機はサスペンド・スタンバイモードを保証していません。サスペンド・スタンバイモードを行うときは、本機をUSBポートから外してください。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

## PS/2マウスポートを使うとき



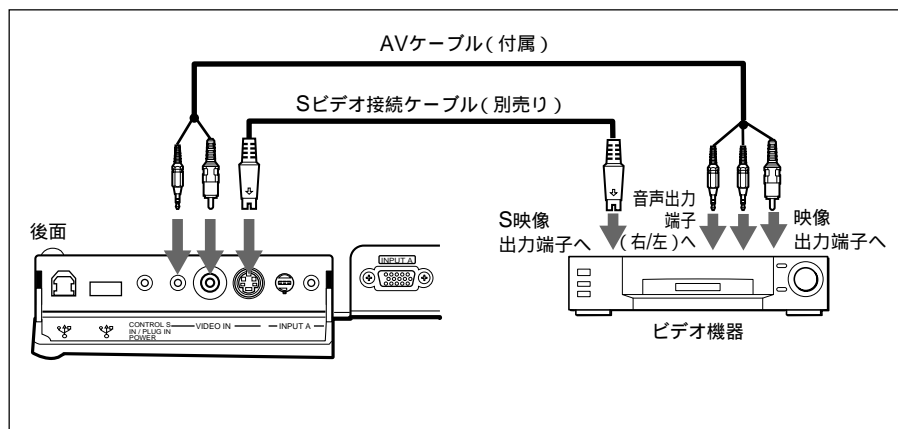
Macintosh (ビデオ出力端子のピン配列が2列タイプのもの) を接続する場合  
市販の**アダプター**をご使用ください。ただし、この場合本機の**リモートコマンド**  
- からマウスを操作することはできません。

## ビデオ機器 / 15k RGB / コンポーネント機器を接続する

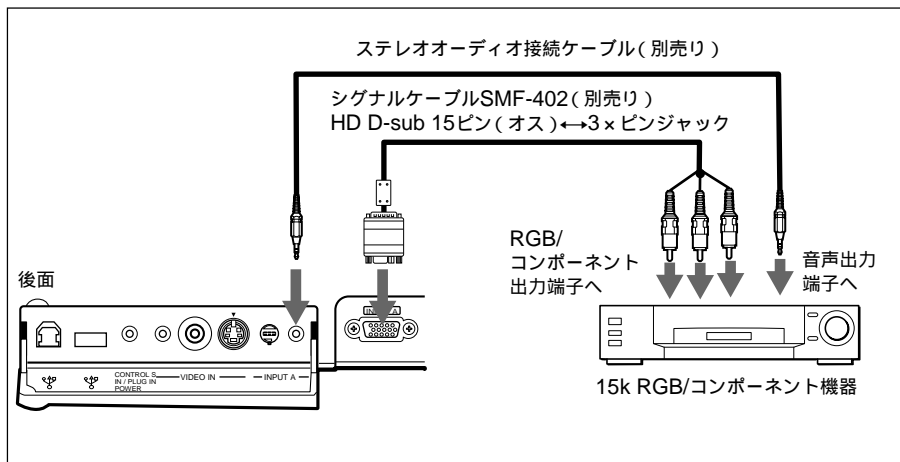
ここでは**ビデオ機器**や、15k RGB / **コンポーネント機器**を本機に接続する  
方法を説明します。

接続する**機器の取扱説明書**もあわせてご覧ください。

## ビデオ機器を接続する場合



## 15k RGB/コンポ - ネット機器を接続する場合

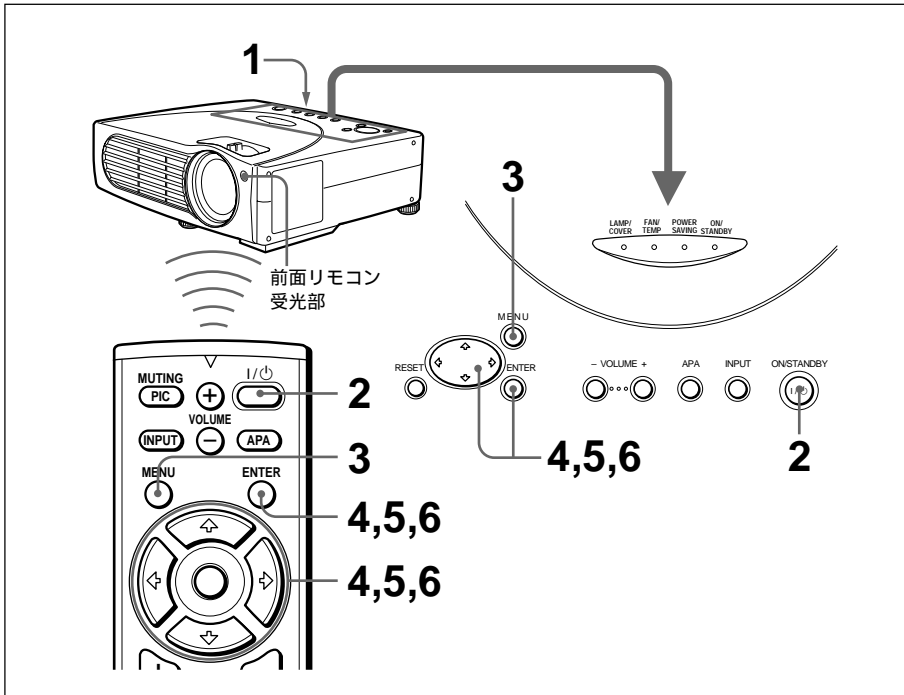


### ご注意

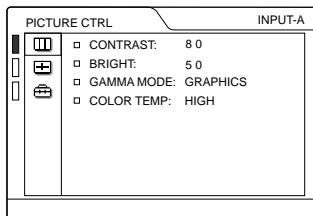
- 入力する信号に応じて、信号設定メニューの「アスペクト」を設定してください。
- 15k RGB/コンポーネント機器を接続する場合は、初期設定メニューの「入力A」の項目でRGB/コンポーネントを切り換えてください。
- 15k RGB/コンポーネント信号を外部同期信号で入力する場合は、複合同期信号にしてください。

# メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を7言語の中から選ぶことができます。  
お買い上げ時は「English」(英語)に設定されています。

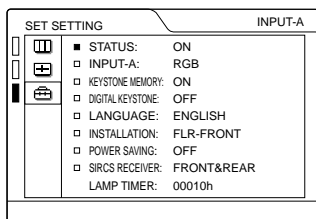


- 1 後面の電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。
- 3 MENUキーを押す。  
メニュー選択画面が表示されます。  
現在選択されているメニュー - が黄色いボタンで表示されます。

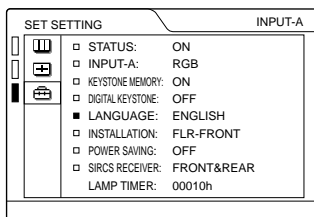




- 4** ↑または↓キーを押してSET SETTING(初期設定)メニューを選び、  
→またはENTERキーを押す。  
選んだメニューの設定項目が表示されます。



- 5** ↑または↓キーを押して「LANGUAGE」(表示言語)を選び、→またはENTERキーを押す。



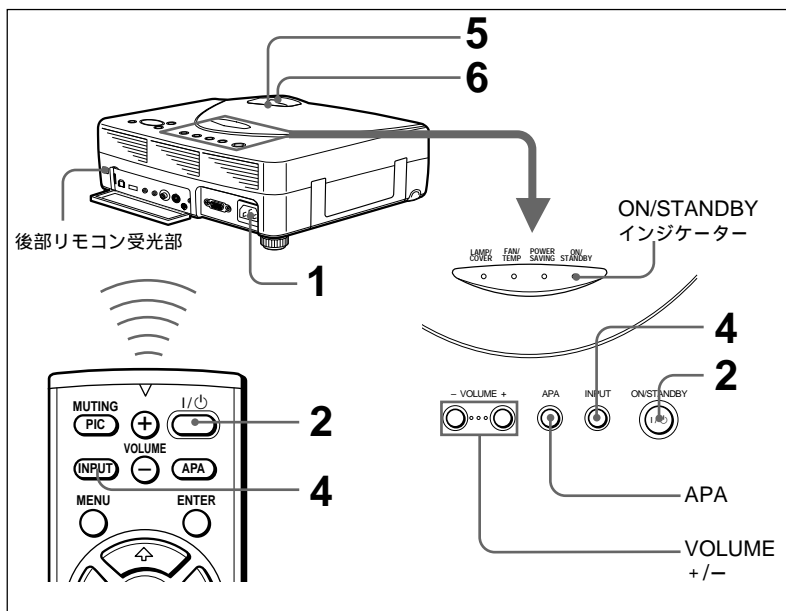
- 6** ↑または↓キーを押して表示させたい言語を選び、←またはENTERキーを押す。  
画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

# スクリーンに画像を映す



- 1 後面の電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。  
ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。
- 2 I/ONキーを押して、電源を入れる。  
ON/STANDBY インジケーターが緑色に点灯します。
- 3 接続した機器の電源を入れる。
- 4 INPUTキーを押して、投影する機器を選ぶ。

投影する機器	画面の表示
コンピューターなど(入力A端子につないだ機器)	入力A
ビデオ機器(VIDEO端子につないだ機器)	ビデオ
ビデオ機器(S VIDEO端子につないだ機器)	Sビデオ

- 5 ズームリングを回して、画像の大きさを調整する。
- 6 フォーカスリングを回して、フォーカスを調整する。



投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

音量を調節するには

VOLUME + / - キーを押す。INPUT A、VIDEOまたはS VIDEO入力のそれぞれで調節することができます。

映像だけ消すには

リモートコマンダーのMUTING PICキーを押す。  
再び映像を出すには、もう一度MUTING PICキーを押します。

コンピューターを本機のリモートコマンダーから操作するには

IBM PC/AT 互換機を本機に接続すると、本機のリモートコマンダーからコンピューターのマウス機能を操作することができます。

R CLICK キーとL CLICK キー、ジョイスティックは以下のように働きます。

#### ご注意

リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

キー	機能
R CLICK (前面)	右ボタン
L CLICK (後面)	左ボタン
ジョイスティック	マウスの動きに対応

くっきりとした画像を得るには

コンピューターからの信号を入力しているときは、画質を自動的に調整することができます。

- 1 コンピューターから静止画像を投影する。
- 2 APAキーを押す。  
調整が終わると、「終了しました」というメッセージが画面に表示されます。

#### ご注意

- APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が残っているときに押してください。画像のまわりに黒い部分が残っている状態で押すと、正しくAPA機能が働かず、画像がスクリーンからはみだしてしまうことがあります。
- 入力を切り換えたり、コンピューターを接続し直したときは、もう1度APAキーを押して調整しなおしてください。
- 調整中にもう1度APAキーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- 信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- 画質を手動で調整するときは、信号設定メニューで調整してください。

## 電源を切る

- 1 I / ⏻キーを押す。  
「パワーオフしますか?」というメッセージが表示されます。

### ご注意

確認のメッセージはI / ⏻キー以外のキーを押すか、5秒間何もキーを押さないと消えます。

- 2 I / ⏻キーを再び押す。  
ON/STANDBYインジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約60秒間回り続けます。はじめの30秒間は早い間隔で点滅します。この間は再びI / ⏻キーを押してもランプを点灯させることはできません。
- 3 ファンが止まり、ON/STANDBYインジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

画面のメッセージを確認できない場合は

状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順1、2の操作のかわりにI / ⏻キーを約1秒押しただままにしても電源を切ることができます。

### ご注意

ファンが回っている間は、電源コードを抜かないでください。ファンが止まり、本機内部の温度が充分下がらないため、故障の原因となることがあります。

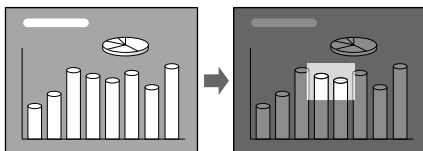
エアーフィルターについて

本機の性能を保持するために、約300時間ごとに必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。

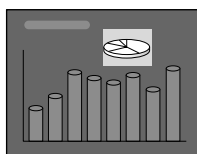
画面を拡大する(デジタルズーム機能)

画面上の希望の位置を拡大できます。

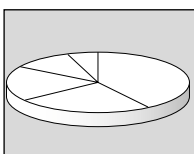
- 1 通常の画面を映し、リモートコンマnderのD ZOOM + キーを押す。  
画面の一部がハイライト表示されます。



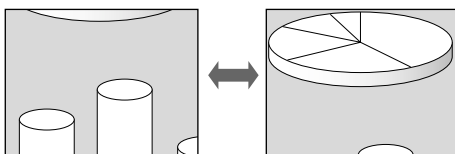
- 2 ↑/↓/←/→キーを使って、拡大したい位置にハイライト表示を移動する。



- 3 もう一度D ZOOM + キーを押す。  
手順2でハイライト表示された画像が拡大されます。+ キーを押すごとに拡大率が上がります(最大4倍)。



また、この状態で↑/↓/←/→キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



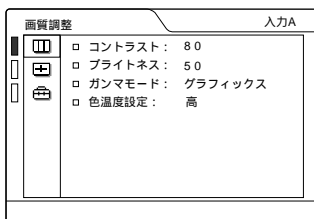
拡大した画像をもとの大きさに戻すには  
リモートコンマnderのD ZOOM - キーを押します。一度で元の大きさに戻すにはRESET (D ZOOM)キーを押します。

## メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

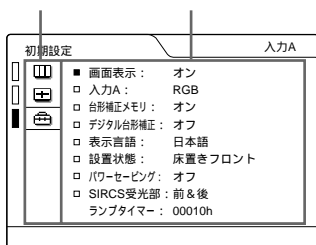
表示言語を変えるには、「メニュー表示言語を切り換える」(24ページ)をご覧ください。

- 1 MENUキーを押す。  
メニュー選択画面が表示されます。  
現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。



- 2 ↑または↓キーを押してメニューを選び、→またはENTERキーを押す。  
選んだメニューの設定項目が表示されます。

メニュー                      設定項目



- 3 項目を選ぶ。  
↑または↓キーを押して設定項目を選び、→または、ENTERキーを押す。

- 4 設定項目の調整や設定をする。

- 数値を変更する項目の場合:

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

- 設定を選ぶ場合:

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

---

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

---

設定値をリセットする

RESETキーを押す。

「終了しました」というメッセージが表示され、画面に表示中の設定値が工場出荷時の値に戻ります。

リセットできる項目は以下のとおりです。

- 画質調整メニューの「コントラスト」と「ブライトネス」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」
- 信号設定メニューの「ドットフェーズ」と「サイズ」、「シフト」
- 初期設定メニューの「デジタル台形補正」

---

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

---

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「入力信号がないときはこの項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

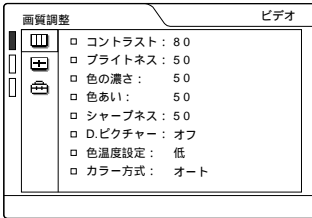
# 画質調整メニュー

画質を調整するメニューです。

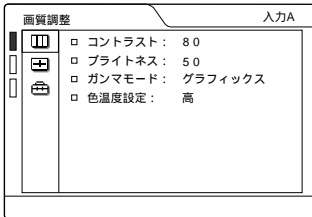
入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

調整できない項目について詳しくは、48ページをご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



RGB信号を入力しているとき



## メニュー項目

### コントラスト

コントラストを調整します。設定値が大きくなると強くなり、小さくなると弱くなります。

### ブライトネス

明るさを調整します。設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

### 色の濃さ

色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

### 色あい

色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

### シャープネス

シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

### D(ダイナミック).ピクチャー

黒の強調をします。

- ・オン: 黒をより黒く再現し、メリハリのきいた画面にします。
- ・オフ: 画面の暗い部分を、映像ソースに忠実に再現します。

### ガンマモード

ガンマ補正曲線を選びます。

- ・グラフィックス: 中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。
- ・テキスト: 白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。

### 色温度設定

画像に合わせて好みの色温度を選びます。

- ・高: 画像の白い部分を青みがかった白にします。
- ・低: 画像の白い部分を赤みがかった白にします。

### カラー方式

カラーシステムを選びます。

- ・オート: NTSC<sub>3.58</sub>、PAL、SECAM、NTSC<sub>4.43</sub>の中から自動判別。
- ・PAL-M/N: PAL-M/PAL-N、NTSC<sub>3.58</sub>の中から自動判別

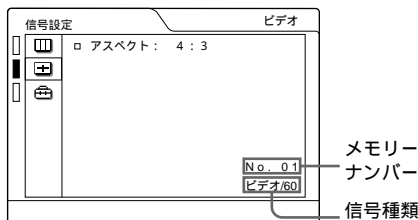
通常は「オート」にしておくと、自動的に判別します。信号の状態が悪く、画が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式に合わせて選択してください。

# 信号設定メニュー

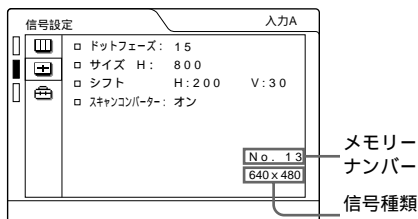
入力信号の設定を変更するメニューです。  
入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

調整できない項目について詳しくは、48ページをご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



RGB信号を入力しているとき



## メニュー項目

### ドットフェーズ

LCDパネルとINPUT A端子から入力される信号の位相を調整します。APAキーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。

画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせてます。

### サイズ

INPUT A端子から入力される画像の水平方向の大きさを調整します。

設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の

大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。

プリセット信号に対するサイズについて詳しくは、49ページをご覧ください。

### シフト

INPUT A端子から入力される画像の位置を調整します。

Hで水平方向の位置を、Vで垂直方向の位置を調整します。

Hの設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。

Vの設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

←または→キーで水平方向の位置を、↑または↓キーで垂直方向の位置を設定します。

### スキャンコンバーター

入力信号をスキャンコンバートして画面いっぱいに画像を表示します。

- オン:画像を画面の大きさに合わせて表示します。画像は少しぼやけた感じになります。
- オフ:入力画素数をLCDの1ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。

### ご注意

XGA、SXGA信号を入力した場合は、この項目は表示されません。

### アスペクト

画面のアスペクト(縦横比)を選びます。

DVD機器などから16:9(スクイーズ)信号を入力する場合、「16:9」に設定してください。

- 4:3: 4:3の映像を入力しているときに選びます。
- 16:9: 16:9(スクイーズ)の映像を入力しているときに選びます。



## プリセットメモリーナンバーについて

本機は、入力Aの信号に対して、あらかじめ37種類の映像データをプリセットしています(プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータ呼び出し、最適な画面に調整します。信号設定メニュー画面には、入力信号のメモリーナンバーと信号種類が表示されます。プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。

また、プリセットメモリーとは別に、20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー00と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

プリセットされている信号について詳しくは、「プリセット信号一覧」(49ページ)をご覧ください。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータが呼び出されたあと、下記の表に従って、「サイズ」を変更してください。「サイズ」を調整したあと、「シフト」で微調整してください。

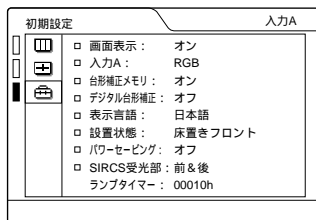
信号	メモリーナンバー	サイズ
Super Mac-2	23	1312
SGL-1	23	1320
Macintosh 19 "	25	1328
Macintosh 21 "	27	1456
Sony News	36	1708
PC9821 1280 × 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

### ご注意

アスペクト(縦横比)が4:3以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

# 初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



## メニュー項目

### 画面表示

画面表示の設定をします。

- オン:画面表示をすべて表示します。
- オフ:メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。

### 入力A

INPUT A 端子に入力される信号をRGB 信号とコンポーネント信号から選びます。

#### ご注意

「入力A」の設定を正しく行わないと色がおかしくなったり、「入力A」の設定を確認してください。」というメッセージが出て映像が出ないことがあります。

### 台形補正メモリ

デジタル台形補正で調整したデータを記憶します。

### デジタル台形補正

投射角度によって画面が台形になってしまった場合にこれを補正します。

画面の上辺より下辺が長い場合 □  
マイナス方向に数値を設定します。

画面の下辺より上辺が長い場合 □  
プラス方向に数値を設定します。

### 表示言語

メニュー画面表示の言語を変えることができます。「ENGLISH」(英語)、「FRANÇAIS」(フランス語)、「DEUTSCH」(ドイツ語)、「ITALIANO」(イタリア語)、「ESPAÑOL」(スペイン語)、「日本語」、「中文」(中国語)から選ぶことができます。

### 設置状態

画像を水平または垂直方向に反転します。

- 床置きフロント:画像は反転しません。
- 天井つりフロント:画像を水平、垂直方向に反転します。
- 床置きリア:画像を水平方向に反転します。
- 天井つりリア:画像を垂直方向に反転します。

#### ご注意

鏡などを用いる場合は、画像が反転することがありますので、設置の際はご注意ください。

### パワーセービング(節電モード)

「オン」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くと節電モードになります。

### SIRCS受光部

本体前面と後面のリモコン受光部(SIRCS受光部)の設定をします。

- 前&後:前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。
- 前:前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。
- 後:後面のリモコン受光部だけを働かせるとき。

### ランプタイマー

現在使用されているランプの使用時間を表示します。

# メンテナンス

## ランプを交換する

光源のランプが切れたり、暗くなったり「ランプをかえてください。」というメッセージが表示されたら、新しいランプと交換してください。ランプ寿命はその使用条件によって変わってきます。

交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-C160をお使いください。

プロジェクターを使用した後にランプを交換する場合は  
プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。ランプを冷やすため、1時間以上たってからランプを交換してください。

### ⚠ 警告

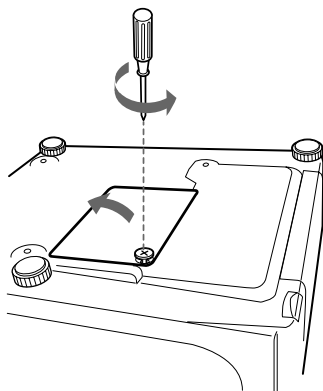
|| ⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプを十分に冷やすため、ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから1時間以上してから行ってください。

- 1 プロジェクターや机に傷がつかないように布などを敷き、その上でプロジェクターを裏返す。

### ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

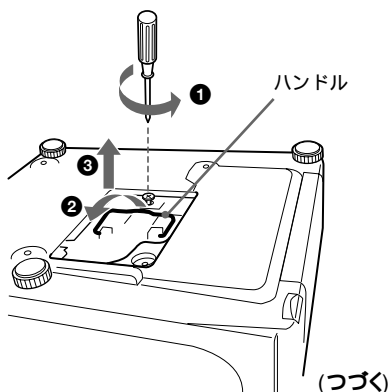
- 2 ランプカバーのネジ(1本)をプラスドライバー(プロジェクターランプに付属)でゆるめ、ランプカバーを開きます。



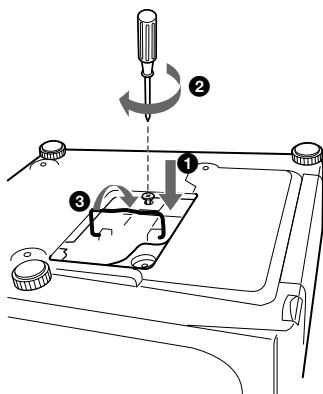
### ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

- 3 ランプのネジ(1本)をプラスドライバーでゆるめ、取り出し用ハンドルを持ってランプを引き出す。



- 4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジを締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。



#### ご注意

- ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
- ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

- 5 ランプカバーを閉め、ネジを締める。
- 6 プロジェクターの向きを元にもどす。
- 7 電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。
- 8 コントロールパネルのキーをRESETキー、←キー、→キー、ENTERキーの順に、それぞれ5秒以内に押す。

#### ⚠ 警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

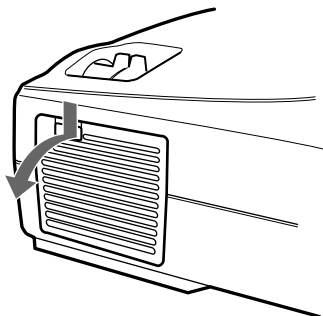
#### ご注意

- 新しいランプは、必ず交換用ランプ LMP-C160をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- 交換用ランプ LMP-C160は、VPL-CX11用です。本機以外には使用しないでください。
- ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

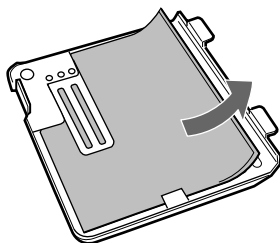
## エアフィルターが汚れてきたら

約300時間ごとにエアフィルターのクリーニングが必要です。フィルターのほこりが取れにくくなったときは、新しいフィルターと交換してください。

- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 プロジェクター左側面のエアフィルターカバーをはずす。



- 3 エアフィルターをはずす。



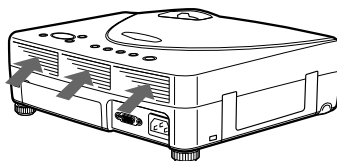
- 4 掃除機でエアフィルターを掃除する。
- 5 エアフィルターをはめて、エアフィルターカバーをプロジェクターに取り付ける。

## ご注意

- エアフィルターの汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液で洗ったあと日陰で乾かしてください。  
それでも汚れが落ちないときは、付属の交換用エアフィルターと交換してください。
- エアフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- エアフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、フィルターカバーの切り欠きのある部分に合わせて入れてください。

吸気口のクリーニングについて

エアフィルターのクリーニングを行う際に、後面の吸気口のクリーニングも行ってください。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。



保守・点検

# トラブル時の対処

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

## 電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・   / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 → 約60秒たってから電源を入れてください。(28ページ)</li><li>・ ランプカバーがはずれている。 → ランプカバーをしっかりとはめてください。(36ページ)</li><li>・ エアフィルターカバーがはずれている。 → エアフィルターカバーをしっかりとはめてください。(37ページ)</li></ul>
LAMP/COVER、FAN/ TEMPインジケーターが2つ とも点灯している。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電気系統の故障です。 → お買い上げ店にご相談ください。</li></ul>

## 映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 → 接続を確認してください。(20ページ)</li><li>・ 映像がミュートされている。 → MUTING PICキーを押して、ミュートを解除してください。 (27ページ)</li><li>・ 入力切り換えが正しくない。 → INPUTキーで正しく選んでください。(26ページ)</li><li>・ 出力信号をコンピューターの外部モニターから出力するように設定していない。 → 出力信号をコンピューターの外部モニターから出力するように設定してください。(20ページ)</li><li>・ 出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方から出力するように設定している。 → 出力信号を外部モニターだけに出力するように設定してください。 (20ページ)</li></ul>
画面にノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入力信号のドット数とLCDの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることもある。 → お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。</li></ul>
INPUT A端子から入力している映像の色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期設定メニューの「入力A」の設定が入力信号と合っていない。 → 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力A」でRGB、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(34ページ)</li></ul>



症状	原因と対処
INPUT A 端子から正しく信号を入力しているのに「入力Aの設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>初期設定メニューの「入力A」が入力信号と合っていない。 → 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力A」でRGB、コンポーネント信号の設定を正しく合わせてください。(34 ページ)</li></ul>
画面表示が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>画面表示の設定が「オフ」になっている。 → 画面表示の設定を「オン」にしてください。(34 ページ)</li></ul>
色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"><li>画質の調整をしていない。 → 画質の調整をしてください。(31 ページ)</li><li>入力信号のカラー方式が合っていない。 → 入力信号に合わせて画質調整メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(31 ページ)</li></ul>
画面が暗い。	<ul style="list-style-type: none"><li>コントラスト、ブライトネスの設定が正しくない。 → 画質調整メニューで正しく設定してください。(31 ページ)</li></ul>
画面がぼやける。	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスが合っていない。 → フォーカスを合わせてください。(26 ページ)</li><li>結露が生じた。 → 電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。(45 ページ)</li></ul>
画面がちらつく。	<ul style="list-style-type: none"><li>信号設定メニューのドットフェーズの設定が合っていない。 → 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。(32 ページ)</li></ul>

## 音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 → 接続を確認してください。(20 ページ)</li></ul>
AUDIO 端子から音声を入力しているとき、片側からしか音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>AUDIO 端子にモノラル音声が入力されている。 → ステレオ音声を入力してください。</li></ul>

## リモートコンマダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコンマダーが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池の寿命がきた。 → 新しい乾電池と交換してください。(18 ページ)</li><li>前面 / 後面リモコン受光部の近くに蛍光灯がある。 → SIRCS 受光部を切り換えてください。(34 ページ)</li></ul>
ジョイスティック、R CLICK キー、L CLICK キーが効かない。	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピューターのマウスポートがマウスケーブルを認識していない。 → コンピューターを再起動してください。</li></ul>

## その他に関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVERインジケータ ーが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれている。 → カバーをしっかりとめてください。(35 ページ)</li> </ul>
LAMP/COVERインジケータ ーが点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランプの寿命がきた。 → ランプを交換してください。(35 ページ)</li> <li>・ランプが高温になっている。 → 60 秒以上たつて、ランプが冷えてから、もう1度電源を入れてく ださい。(28 ページ)</li> </ul>
FAN/TEMPインジケータ ーが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンが故障している。 → お買い上げ店にご相談ください。</li> </ul>
FAN/TEMPインジケータ ーが点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部が高温になっている。 → 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。</li> </ul>
LAMP/COVER、FAN/ TEMPインジケータが2 つとも点灯している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気系統の故障です。 → お買い上げ店にご相談ください。</li> </ul>

## 警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セッ内部温度が高いです。 1分後にLAMP オフします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部の温度が高くなった。 → 電源を切ってください。 → 排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。</li> </ul>
入力信号の周波数が対応 範囲を超えています!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 → 対応範囲内の信号を入力してください。</li> <li>・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 → 出力信号の設定をXGAにしてください。(20 ページ)</li> </ul>
入力Aの設定を確認してく ださい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期設定メニューの「入力A」が「コンポーネント」に設定されてい るのに、コンピューターからRGB 信号を入力した。 → 「入力A」を正しく設定してください。(34 ページ)</li> </ul>
ランプをかえてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランプの交換時期が来た。 → ランプを交換してください。</li> </ul>

## 注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

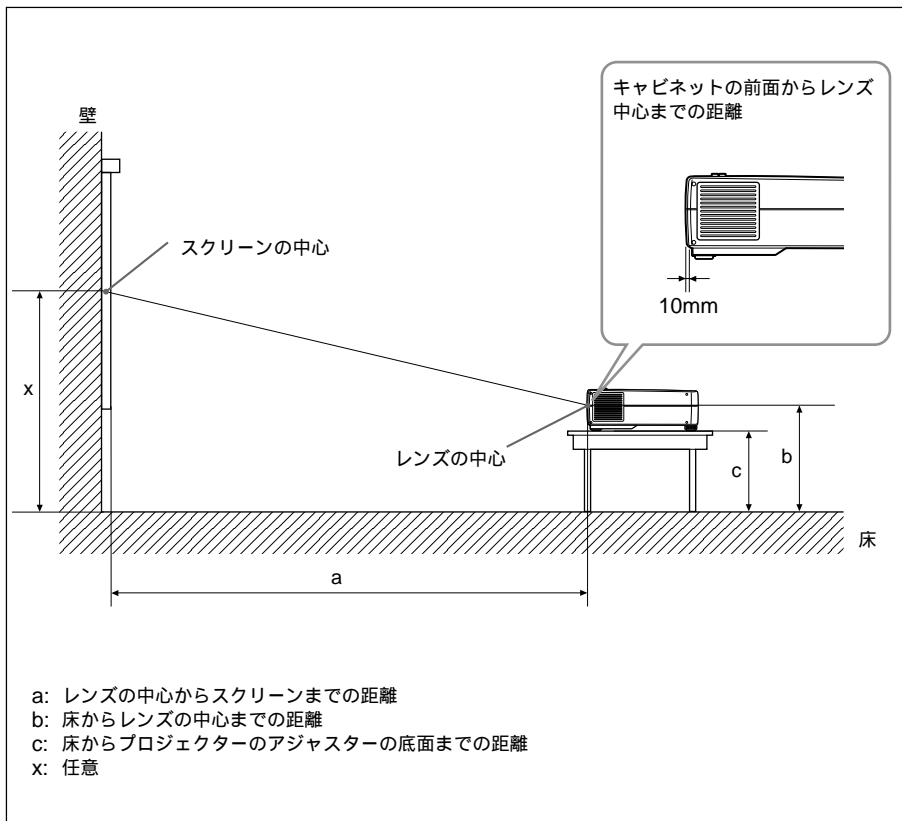
メッセージ	意味と対処
入力信号がありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体に何も入力されていない。 → 接続を確認してください。(20 ページ)</li> </ul>
無効キーが押されました	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作が正しくない。 → 正しいキーを押してください。</li> </ul>



## 設置例

プロジェクターを床置きに設置する場合の設置例を示します。設置寸法はプロジェクターの種類により異なります。

### 床置き



その他

設置寸法と計算方法を以下に示します。

表および計算式のアルファベットは以下の意味を示します。

- SS: スクリーンサイズ対角 (インチ)
- a: レンズの中心からスクリーンまでの距離
- b: 床からレンズの中心までの距離
- c: 床からプロジェクターの底面までの距離
- x: 任意

単位 : mm

SS	40	60	80	100	120	150	180	200	250	300	
a	最小	1465	2230	2996	3761	4526	5674	6822	7587	9500	11413
	最大	1768	2683	3598	4513	5428	6800	8172	9087	11375	13662
b	x-304	x-456	x-609	x-761	x-913	x-1141	x-1369	x-1521	x-1902	x-2282	
c	x-358	x-510	x-662	x-814	x-966	x-1195	x-1423	x-1575	x-1955	x-2336	

設置寸法の計算方法 (単位 : mm)

a 最小値 =  $\{(SS \times 33.8585 / 0.907087) - 63.6124\} \times 1.025$

a 最大値 =  $\{(SS \times 42.5589 / 0.907087) - 63.3149\} \times 0.975$

b値 =  $x - (SS / 0.907087 \times 6.9)$

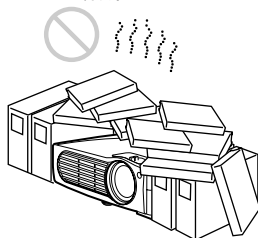
c値 =  $x - (SS / 0.907087 \times 6.9 + 53.5)$

# 設置時のご注意

## 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

### 風通しが悪い場所

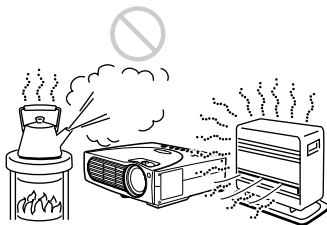


● 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。

吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMP オフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。

- 本機の周囲から30 cm以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

### 温度や湿度が高い場所



温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

### ほこりが多い場所



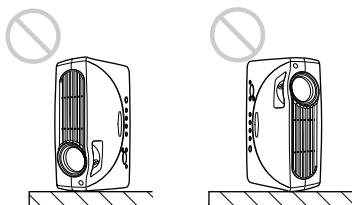
ほこりの多い場所での使用は避けてください。ちりやほこりの多い場所で使用すると、エアフィルターがつまりやすくなります。また、エアフィルターの汚れは、内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

## 使用に適さない状態

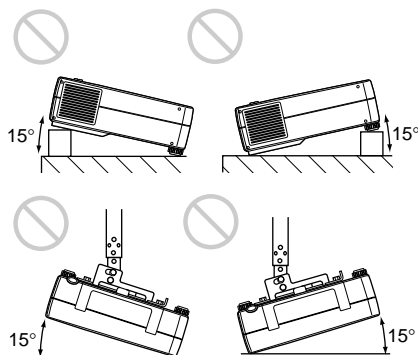
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用する

プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。



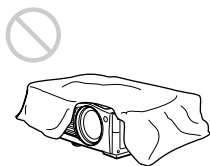
本機を前後左右に15°以上傾ける



プロジェクターを15°以上前後に傾けて、設置すると、色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

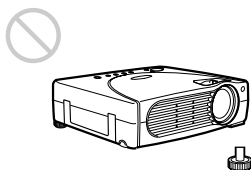
その他

## 吸排気口を覆う



吸気口および排気口をふさぐような覆いやカバーを使用しないでください。吸気口および排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

## アジャスターを外して使用する



アジャスターを外したまま使用しないでください。底面の吸気口がふさがれると、内部の温度が上昇する原因となります。

# 本機の性能を保持するために

## ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

## 部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

## お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようご注意ください。
- 定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

## 結露について

プロジェクターの設置してある室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因となりますので冷暖房にご注意ください。

結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

## 液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

その  
他

# 仕様

## 光学系

投影方式 3LCD パネル、1レンズ、3原色光シャッター方式

LCD パネル 0.9 インチマイクロレンズアレイ付き  
TFT LCD パネル、(2,359,296 画素  
(786,432 × 3))

レンズ 1.3 倍ズームレンズ(マニュアル)  
f 33.6 ~ 42 mm/F 1.7 ~ 2.2

ランプ 160 W

投影画面サイズ  
40 インチ ~ 300 インチ

光出力 1500 ANSI<sup>1)</sup> 1m

投影距離(床置き)

XGA 入力時

スクリーンサイズ(インチ)	距離(mm)
40	1465 ~ 1768
60	2230 ~ 2683
80	2996 ~ 3598
100	3761 ~ 4513
120	4526 ~ 5428
150	5674 ~ 6800
180	6822 ~ 8172
200	7587 ~ 9087
250	9500 ~ 11375
300	11413 ~ 13662

## 電気系

カラー方式 NTSC<sup>3.58</sup>、PAL、SECAM、NTSC<sup>4.43</sup>、  
PAL-M、PAL-N 自動切り換え / 手  
動切り換え

解像度 水平解像度 750TV 本(ビデオ入力  
時)  
1024 × 768ドット(RGB 入力時)

対応コンピューター信号

fH: 19 ~ 92 kHz, fV: 48 ~ 92 Hz

スピーカー ステレオスピーカーシステム  
直径 36 mm、最大 0.5 W × 2

## 入出力

VIDEO IN S VIDEO: Y/C、ミニDIN4ピン(オス)  
Y(輝度)信号: 1 Vp-p ± 2 dB 同期負  
(75 終端)

C(クロマ)信号: パースト 0.286 Vp-p  
± 2 dB (NTSC)(75 終端)  
パースト 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL)  
(75 終端)

VIDEO: ビンジャック  
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB  
同期負(75 終端)

AUDIO: ステレオミニジャック  
500 mVrms、インピーダンス 47k  
以上

INPUT A(入力A):

INPUT A: HD D-sub 15ピン  
アナログRGB/コンポーネント  
R/R-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB(75 終  
端)

G: 0.7 Vp-p ± 2 dB(75 終端)  
同期付 G/Y: 1 Vp-p ± 2 dB 同期  
負(75 終端)

B/B-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB  
(75 終端)

SYNC/HD: 複合同期入力:  
1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、  
正負極性

水平同期入力: 1 ~ 5 Vp-p  
ハイインピーダンス、正負極性  
VD: 垂直同期入力: 1 ~ 5 Vp-p  
ハイインピーダンス、正負極性

AUDIO: ステレオミニジャック  
500 mVrms、インピーダンス 47 k  
以上

MOUSE: 丸形6ピン(メス)  
(「ピン配列」参照)

CONTROL S IN/PLUG IN POWER

ステレオミニジャック 5 Vp-p、プ  
ラゲインパワー、DC5V

USB ハブ: アップ(Bタイプ:メス) × 1、  
ダウン(Aタイプ:メス) × 1

安全規格 電安法、VCCIクラスB  
本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

<sup>1)</sup> ANSI 基準ルーメンは、American National Standard IT7.228 に定められた測定方法によります。

## 一般

外形寸法	285 × 76 × 249.5 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部含まず)
質量	約 3.3 kg
電源	AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電力	最大 230 W (スタンバイモード時: 6 W)
発熱量	784.9 BTU
動作温度	0 ~ + 35
動作湿度	35 % ~ 85 % (結露しないこと)
保存温度	- 20 ~ + 60
保存湿度	10 % ~ 90 %
付属品	リモートコマンダー (1) 単3形乾電池 (2) AVケーブル (2 m) (1) (1-757-350-11) HD D-sub 15ピンケーブル (2 m) (1) (1-791-992-21) PS/2 マウスケーブル (2 m) (1) (1-792-424-11) USBケーブル Aタイプ-Bタイプ (1) (1-790-081-31) CD-ROM (アプリケーションソフトウェア) (1) 電源コード (1) 交換用エアフィルター (1) レンズキャップ (1) 取扱説明書 (1) 特約店様用設置説明書 (1) 早わかりカード (1) 保証書 (1)

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 別売りアクセサリ

### プロジェクターランプ

LMP-C160 (交換用)

### シグナルケーブル

SMF-402 (HD D-sub 15ピン (オス) ↔ 3 × ピンジャック (オス))

### モニターケーブル

SMF-410 (HD D-sub 15ピン (オス) ↔ HD D-sub 15ピン (オス))

### スクリーン

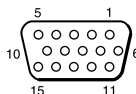
100 インチフラットスクリーン VPS-100FH

### サスペンションサポート

PSS-610

## ピン配列

INPUT A端子 (HD D-sub 15ピン、メス)



1	映像入力 (赤) R/R-Y	8	接地 (青用)
		9	N.C
2	映像入力 (緑) G/Y	10	接地
		11	接地
3	映像入力 (青) B/B-Y	12	DDC/SDA
		13	水平同期信号 / 複合同期信号
4	接地		
5	接地	14	垂直同期信号
6	接地 (赤用)	15	DDC/SCL
7	接地 (緑用)		

その他

## MOUSE端子(丸形6ピン、メス)



1	DATA
2	N.C.
3	GND
4	+5V
5	CLK
6	N.C.

---

### 入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。

詳しくは、下の表をご覧ください。

調整・設定できない項目はメニューに表示されません。

#### 画質調整メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	RGB	白黒信号
コントラスト				
ブライトネス				
色の濃さ			×	×
色あい	(NTSC 3.58/4.43のみ)	×	×	×
シャープネス			×	
D.ピクチャー			×	
ガンマモード	×	×		×
色温度設定				
カラー方式		×	×	

：調整・設定できる項目 ×：調整・設定できない項目



信号設定メニュー

項目	入力信号			
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	RGB	白黒信号
ドットフェーズ	×	×		×
サイズ	×	×		×
シフト	×	×		×
スキャンコンバーター	×	×		×
アスペクト			×	

：調整・設定できる項目 ×：調整・設定できない項目

プリセット信号一覧

メモリー ナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ	
1	ビデオ 60 Hz		15.734	59.940	/	/	
2	ビデオ 50 Hz		15.625	50.000			
3	15k RGB/ コンポーネント 60 Hz		15.734	59.940			S on G/Yまたは コンボジットシンク
4	15k RGB/ コンポーネント 50 Hz		15.625	50.000			S on G/Yまたは コンボジットシンク
6	640 × 350	VGA モード1	31.469	70.086	H-正 V-負	800	
7		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H-正 V-負	832	
8	640 × 400	PC-9801 ノーマル	24.823	56.416	H-負 V-負	848	
9		VGA モード2	31.469	70.086	H-負 V-正	800	
10		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H-負 V-正	832	
11	640 × 480	VGA モード3	31.469	59.940	H-負 V-負	800	
12		Macintosh 13"	35.000	66.667	H-負 V-負	864	
13		VGA VESA 72Hz	37.861	72.809	H-負 V-負	832	
14		VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	H-負 V-負	840	
15		VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	H-負 V-負	832	
16	800 × 600	SVGA VESA 56Hz	35.156	56.250	H-正 V-正	1024	
17		SVGA VESA 60Hz	37.879	60.317	H-正 V-正	1056	
18		SVGA VESA 72Hz	48.077	72.188	H-正 V-正	1040	
19		SVGA VESA 75Hz	46.875	75.000	H-正 V-正	1056	
20		SVGA VESA 85Hz	53.674	85.061	H-正 V-正	1048	
21	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H-負 V-負	1152	

その他

メモリー ナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
22	1024 × 768	XGA VESA 43Hz	35.522	43.479	H-正 V-正	1264
23		XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	H-負 V-負	1344
24		XGA VESA 70Hz	56.476	70.069	H-負 V-負	1328
25		XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	H-正 V-正	1312
26		XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	H-正 V-正	1376
27	1152 × 864	SXGA VESA 70Hz	63.995	70.016	H-正 V-正	1472
28		SXGA VESA 75Hz	67.500	75.000	H-正 V-正	1600
29		SXGA VESA 85Hz	77.487	85.057	H-正 V-正	1568
30	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H-負 V-負	1504
31		Sunmicro HI	71.713	76.047	H-負 V-負	1472
32	1280 × 960	SXGA VESA 60Hz	60.000	60.000	H-正 V-正	1800
33		SXGA VESA 75Hz	75.000	75.000	H-正 V-正	1728
34	1280 × 1024	SXGA VESA 43Hz	46.433	43.436	H-正 V-正	1696
35		SGI-5	53.316	50.062	S on G	1680
36		SXGA VESA 60Hz	63.974	60.013	H-正 V-正	1696
37		SXGA VESA 75Hz	79.976	75.025	H-正 V-正	1688
38		SXGA VESA 85Hz	91.146	85.024	H-正 V-正	1296

### ご注意

上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。

### 電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ		ヨーロッパ 諸国	イギリス、 アイルランド、 オーストラリア、 ニュージーランド	日本
<b>プラグ型名</b>	VM0233	290B	YP-12A	- <sup>1)</sup>	YP332
<b>コネクタ型名</b>	VM0089	386A	YC-13B	VM0310B	YC-13
<b>コード型名</b>	SVT	SJT	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
<b>定格電圧・電流</b>	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
<b>安全規格</b>	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	電安

<sup>1)</sup> プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

# 索引

あ行			
アジャスター	13	スクリーン	
「アスペクト」	32	スクリーンサイズ	19、42、46
「色あい」	31	接続	
「色温度設定」	31	コンピューターを	
「色の濃さ」	31	接続する	20
INPUT A 端子	16	コンポーネント機器を	
ピン配列	47	接続する	22
エアフィルター	37	ビデオ機器を接続する	22
か行		「設置状態」	34
各部の名称と働き		設置例	41
後面 / 右側面 / 底面	12	床置き	41
コネクターパネル	16	設置時のご注意	
コントロールパネル	14	使用に適さない状態	43
前面 / 左側面	12	設置に適さない場所	43
リモートコマンダー	17	た行	
画質調整メニュー	31	台形補正メモリ	34
画像の大きさの調整	26	「D(ダイナミック)	
画像を映す	26	ピクチャー」	31
「画面表示」	34	調整	
「カラー方式」	31	画質の調整	27、31
「ガンマモード」	31	画像のサイズ /	
キャリングハンドル	13	シフト調整	32
結露	45	設定値の記憶	30
「コントラスト」	31	デジタル台形補正	34
さ行		デジタルズーム機能	29
「サイズ」	32	電池についての安全上の	
「SIRCS 受光部」	12、34	ご注意	8
SIRCS 受光部の設定	34	電池の入れかた	18
「シフト」	32	「ドットフェーズ」	32
「シャープネス」	31	トラブル時の対処	38
仕様	46	な行	
初期設定メニュー	34	入力A	34
信号設定メニュー	32	は行	
スキャンコンバーター	32	「パワーセービング」	14、34
		「表示言語」	34
		「表示言語」を	
		切り換える	24
		ピン配列	48
		付属品	47
		「ブライトネス」	31
		別売りアクセサリ	47
		保証書とアフターサービス	45
		本機の性能を	
		保持するために	44
		ま行	
		マウスケーブル	
		接続	22
		MOUSE 端子	16
		ピン配列	48
		メッセージ	
		警告メッセージ	40
		注意メッセージ	40
		メニュー	
		画質調整	31
		初期設定	34
		信号設定	32
		メニュー画面を消す	30
		メニューの操作方法	30
		や行	
		USB 端子	16、21
		ら行	
		ランプタイマー	34
		ランプの交換	35
		リセット	
		設定値をリセットする	30
		リセットできる項目	30
		リモコン受光部	
		後面リモコン受光部	13
		設定	34
		前面リモコン受光部	12
		リモートコマンダー	
		各部の名称と働き	17
		電池の入れかた	18

お問い合わせは

「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

<http://www.sony.net/>

この説明書は再生紙を使用しています。

CCCCCCCCC

Printed in Japan